

## 第40回石巻市都市計画審議会議事録

1 日 時 令和4年9月30日（金）午後2時30分～午後4時30分

2 場 所 石巻市ささえあいセンター 3階 ささえあいホール

3 1号委員 高橋 武徳委員  
三浦 孝一委員（欠席）  
関口 駿輔委員  
白土 典子委員  
畠山 雄豪委員

2号委員 阿部 浩章委員  
遠藤 宏昭委員  
千葉 正幸委員  
櫻田 誠子委員（欠席）

3号委員 石田 和也委員  
舛谷 成幸委員（代理 柴田正義 技術副参事兼統括次長）  
須藤 隆史委員  
小野寺 夢津子委員  
田中 雅子委員（欠席）  
宮本 竜太委員

事務局	建設部	次 長	阿部 義憲
		次 長	梶原 正義
		都市計画課長	佐藤 一弘
		課長補佐兼都市計画係長	木村 貴俊
		技術主幹	後藤 寛
		主 査	伊藤 稔
		主任主事	関根 愛

傍聴者 なし

## 4 議 事

- 報告事項1 石巻市立地適正化計画について
- 報告事項2 石巻市都市再生整備計画について
- 報告事項3 都市計画提案制度について

5 議事の概要 事項のとおり

## 6 会議経過

午後2時30分 開会

### 【司会】

会議の開会に当たり、皆様をお願いを申し上げます。携帯電話をお持ちの方は、電源をお切りいただくか、マナーモードに設定していただきますよう、よろしく願いいたします。

それでは、定刻となりましたので、ただ今から「第40回石巻市都市計画審議会」を開会いたします。本日はお忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。本日の進行役であります、都市計画課の木村と申します。よろしく願いいたします。

本日の審議会は、今年度になり最初の開催でございます。前回開催の審議会以降、委員の異動がございましたので、新たな委員の方に、市長から委嘱状を交付させていただきます。順に名前を読み上げますので、恐れ入りますが、その場にご起立をお願いいたします。

阿部 浩章 様。

遠藤 宏昭 様。

千葉 正幸 様。

舩谷 成幸 様 本日は代理で柴田正義様がお出席しております。

須藤 隆史 様。

なお、櫻田誠子委員におかれましては、本日欠席とのご報告がありましたので、後日事務局から委嘱状を交付いたします。任期につきましては、令和5年8月7日までとなりますが、よろしく願いいたします。

それでは、会議の成立についてご報告をさせていただきます。本日もご出席いただいております委員は、15名中、本人出席11名、代理出席1名の合計12名でございます。過半数に達しておりますので、「石巻市都市計画審議会条例第6条第2項」の規定により、本審議会は成立しておりますことをご報告いたします。

それでは、はじめに、齋藤市長からご挨拶を申し上げます。

### 【齋藤市長】

皆さんこんにちは。第40回石巻市都市計画審議会の開催にあたり、一言御挨拶をさせていただきます。本日は、委員の皆様にはお忙しい中、御出席を賜り、誠にありがとうございます。また、新たに委員になられた方には、来年8月7日までの任期となりますが、改めましてよろしく願い申し上げます。

さて、本市の「都市計画マスタープラン」につきましては、委員の皆さまの御指導御協力のもと、本年4月に改定する事が出来ました。重ねて御礼申し上げます。

本日は審議案件はございませんが、改定された「都市計画マスタープラン」に基づき、「石

巻市立地適正化計画」、「石巻市都市再生整備計画」、「都市計画提案制度」の御説明をさせて頂き、これらを推進するにあたりまして、委員の皆様方から忌憚のない御意見を賜り、今後の業務の参考とさせて頂きたく、よろしくお願い申し上げます、誠に簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。令和4年9月30日石巻市長齋藤正美。どうぞ皆さんよろしくお願い致します。

#### 【司会】

ありがとうございました。ここで齋藤市長は別公務のため退席させていただきます。

議事に入る前に、資料を確認させていただきます。

A4判でホチキス止めされている、本日の「次第」、「報告資料1」、「委員名簿」、「石巻市都市計画審議会条例写し」、「座席表」までの綴りが1部。水色の表紙でA4判で綴られている「資料-1石巻市立地適正化計画について」、緑色の表紙で同じく綴られている「資料-2石巻市都市再生整備計画について」、黄色の表紙で綴られている「資料-3都市計画提案制度について」、折りたたみ図面「石巻市都市計画図総括図」、A4判の「石巻市都市計画マスタープラン本編」、同じく「マスタープラン概要版」をお配りしております。資料等に不足はございませんか。

それでは、ここで、石巻市都市計画審議会条例第6条の規定により、本日の議事の進行を関口会長をお願いいたします。関口会長よろしくお願い致します。

#### 【関口会長】

石巻専修大学から参りました関口です。よろしくお願い致します。本日はお越し頂きまして誠にありがとうございます。着座にて失礼いたします。先ほど市長からもお話がありましたように、審議事項はありませんが、極めて重要な報告事項が並んでおりまして、取分け私個人の意見でありますけれども、石巻市の立地適正化計画につきましては、国土交通省さんのほうも策定を推進しているものでございますので、是非皆さんの専門性を生かしてご意見、アドバイスを頂戴できればなと感じております。どうぞ宜しくお願いいたします。

それでは次第に沿いまして都市計画審議会を進めさせていただきます。

第4番目、報告という事で、第39回石巻市都市計画審議会議案の処理について、事務局から報告をお願いします。

#### 【事務局】

建設部都市計画課長の佐藤でございます。着座にて失礼いたします。私から、前回の第39回石巻市都市計画審議会議案の処理結果についてご報告させていただきます。本日の会議次第の次のページ、右上に「報告資料1」と記載されたページをご覧ください。

第39回石巻市都市計画審議会は、本年3月23日に開催し、第155号議案、第156号議案の2議案につきまして御審議をいただき、いずれも原案どおり承認をいただいたところであります。議案の処理結果につきましては、表の右側、処理結果欄に記載のとおり、第155号議案 双葉公園の変更につきましては、令和4年4月7日付け、石巻市告示第225号を以って都市計画の決定をしております。

次に第156号議案 石巻市都市計画マスタープラン（中間案）でございますが、この案を審議会に諮問いたしましたのは、昨年12月開催の第38回でございます。それに対し、前回、第39回にて審議会からの答申を受け、4月1日付けで改定を行っております。なお、本日、製本されたマスタープランの本編と概要版をお手元に配布させて頂いております。報告については以上でございます。

#### 【関口会長】

ありがとうございました。委員の皆様から何かございますでしょうか。

無いようですので、それでは議事に入ります。今回は報告事項3件のみとなります。最初に報告事項1、石巻市立地適正化計画について事務局から説明をお願いします。

#### 【事務局説明】

#### 【関口会長】

ご説明ありがとうございました。多岐にわたる内容のため質問を整理する、あるいはご意見を頂くのもなかなか難しいのかなと思いますが、是非忌憚のないご意見やアドバイスを頂けたらと思います。何かご質問ご意見等ございましたら挙手をして頂けますでしょうか。

#### 【宮本委員】

宮本と申します。資料28ページに地域公共交通とありますが、最近 JR 石巻線が赤字路線になって、廃線にはならないと思いますが、危ない状況にある中で、市のネットワークの拠点に JR が、鉄道が含まれていると思うけれども、その辺を今の話に置き換えて、例えば新駅を作るとか、今ある駅周辺の開発などに重点を置いて、JR を盛り上げて行くような感じにしないと、市の公共施設とかが鉄道と共に発展しないと、計画がうまく進まないんじゃないかとイメージが湧いたんですけど、その辺どうかお願いします。

#### 【事務局】

今のお話しの中で、鉄道を盛り上げていかないと、という事で今回の立地適正化計画の中では、計画の中から派生して新駅を作るところまでは想定していませんので、あくまでも今ある駅の周辺ですとか、そういう所を核として公共交通を使いながら街づくりをしていくといったところがベースとなります。今回地域公共交通は鉄道だけでは無く、宮交バ

スを中心としたバス、デマンド型のタクシーとか、地域のバス、中にはカーシェアリングなど、そういったものを総動員して、地域にお住いの方がいかに中心部とか、地域の核にアクセスしやすいかという事を、立地適正化計画とは別に、地域交通の計画がございますので、連携を取りながら、街づくりに反映させていくという事が、今回の内容となっております。

**【関口会長】**

ありがとうございます。その他ございますでしょうか。

では参考までに教えて頂きたいのですが、懇談会をすでに行われているとのことですが、どの様なご意見があったのか、参考までに教えてください。

**【事務局】**

ご質問ありがとうございます。懇談会での主な意見でございます。まず、石巻の場合幅広く旧1市6町色々なところがございまして、都市計画区域の中だけで物事を考えるのではなく、都市計画区域外、総合支所等も含めた形で将来の石巻を見据えた形で、都市計画区域に落とし込んでいくというような考え方が必要ではないかというご意見を頂いております。

それから、先ほど宮本委員からも話があったとおり、公共交通がなかなか地方は厳しいという事がありまして、車社会という事も意識したうえで、立地適正化計画の検討ができないだろうか、といったご意見も頂きました。それから不動産関係の方には個人で色々なところに土地をお持ちの方がおり、そういった方々の財産に関する計画とも考えられるので、丁寧な説明をし、ご理解を頂くような考え方もしていきなさいというような意見を頂きました。さらに復興事業でだいが道路が出来上がってきまして、街なかの交通体系も変わってきている、そういったものも見据えたうえで、誘導区域を設定していく必要があるんじゃないかとの意見もありました。また東松島市と広域都市計画で繋がっておりますが、東松島市と隣接したところも影響がある。そういったところも加味しながらやっていくべきとのご指摘も頂きました。以上です。

**【関口会長】**

ありがとうございます。続く都市再生整備計画とも関連するものだと思いますので、次第を進めさせていただきます。

それでは報告事項2、石巻市都市再生整備計画について、事務局から説明願います。

**【事務局説明】**

**【関口会長】**

ご説明ありがとうございました。それでは報告事項2について質問等ありましたらお願いいたします。

**【舩谷委員代理 柴田技術副参事】**

東部土木事務所でございます。資料3の6ページの目標の中で数点お伺いします。まず目標1歩行者自転車通行量の増加と、目標2自転車回遊率の増加に対して、自転車のこのエリアの位置づけというものはどのようにさばっていく予定なのか、国の政策の中で自転車の通行の推進が進められていますし、自転車のルート、ライドのコースを組みこむのか、自転車をまちなかに回遊させるのか、それとも外に回すのか、立地適正化計画や都市マスの中で議論になっている市町村もある中で、石巻市様として自転車の目標1自転車通行量の増加に対して回遊性との関係についてどのように考えているのか、教えて頂きたい。

**【事務局】**

目標1の歩行者自転車通行量の増加というのは、都市再生整備計画で取り組んでいる目標ですが、同時に中心市街地活性化基本計画の中でも同様の目標を立てている状況です。同じ目標を共有する中で今回の取り組みを検証しようとしておりますが、ご指摘のありました自転車の扱いですが、中心市街地は歩行者と自転車の分離がなされていないので、現実には歩道空間を走行したり、高速系の自転車ですと車道を通行したり、なかなか分離がされていないという状況です。まちなかをどうして行くかという事も含めて社会実験などを繰り返しまして将来的にまちなかに自転車を誘導するのか、それとも外縁部への誘導なのか整備計画の実験等を通して考えていかなければならないのかなと思っております。

**【舩谷委員代理 柴田技術副参事】**

なかなか答えの出ないのは承知しておりますが、目標1に掲げている以上、どの様にされるのか都市再生の中で確認されることとなるかもしれませんが、一応申し上げました。

もう一点でございますけれども、7ページの事業予定箇所のハッチングの部分と、少し関係性をお聞きしたいのですが、橋通りをフィールドに実験とをされると思いますが、一方で石巻市さんの広域都市計画の中で、門脇稲井線、ようはアイトピア通りが都市計画道路として位置付けられているはずですが、この都市計画道路を含んだ回遊性というものが、このままですと分断してしまう、中のほうに入っていくように市さんでお考えなのか、それとも門脇稲井線のアイトピア通りを使って、広小路までの間でいくとなると、このフィールドがL字型になって来ると思うのですが、市さんの都市計画決定された道路をかわまちエリアの中に組み込むのか組み込まないのか、内海橋ができた関係で、市さんと県が道路の管理を交換しておりますが、県も巻き込んだ形で、アイトピア通りを使う事が将来的に、考えられるのか教えて頂ければと思います。

**【事務局】**

7ページの図面のハッチングされているのが、橋通りを中心としたエリアです。今回の社会実験のこれまでのフィールドとして、黒のハッチングのところを事業を展開してまいり

ましたが、最初に説明した通り、かわまちエリアと橋通りのところまでは、イベント等があると人がいるのですが、さらに立町通り国道398号から駅前の方の賑わい、回遊性というものが先ほどのグラフで見て頂いた通り、なかなか伸びないという事もありますので、この中に都市計画道路や県道や市の道路が混在しておりますが、その区別をすることなく、いかに歩く空間として快適性を上げていくにはどうしたらいいのか、都市再生整備計画の中でハード、ソフト面を含めて検証していくというのが、今回の内容となっております。

オレンジ色のエリアですが、市の産業部で設定している石巻マンガロードをなぞっており、マンガのモニュメントが所々に設置されており、そういったマンガのまちを意識しながら回遊性を上げるという事、どうしたら中に入っていくのか、モニュメントがあるだけでは中に入っていくかという事を実感しておりますので、こういった取り組みが必要なのか、今回の整備計画の中でハード・ソフト面で手探り状態ではありますが、日々検証しているという現状であります。

#### 【高橋委員】

7ページの図面でいいのですが、まず一つは交通体系ですが、震災前の旧市役所、山の手方面に向かう幹線道路がアイトピア通り一つだけでしたよね。そこは相互通行となっておりますけれども、逆に山からおりてくるのは、永巖寺前とかあるいは元気市場の前となっておりますが、年間100万人の客を呼び込むための街なかの道路体系、交通体系としては貧弱ですよね。これが一点。それからかわべいの前、ここは南浜町から来る一方通行ですよね。ただ震災前は結構この道路太かったんですよ。所謂2車線あって、一方通行ではあったんですが湊側に行くための右折して内海橋を渡って2車線とっても良い幅だったんですよ。これが今回の開発で、一方通行で道路幅が狭い。これは如何なものか。ここは最初の設計で相互通行にするべきだった。それから新内海橋、堤防の高さが4.5mだったから、ピアの関係で着地点の観慶丸のところで高さを上げると勾配がきつくなるというような関係もあるのでしょうか、宅急便も潜れない橋の下になっているのですよね。ですから普段一方通行であるし、信用金庫のほうから元気の方に向かっていくと、進入禁止ですよね、旧橋通り昔の内海橋から商工会議所の正面を通過してアイトピアに出るという事になっているのですが、わかりにくい、それから道路幅が狭い、これはやっぱり何とかしないと、将来的に100万とか200万人呼ぶと言ってもですね、石巻の人ならいいですが、外部からくるお客さんは入りづらいと言っている。ですから仙台方面から来る場合、アイトピアから山の方に向かって滝川からぐるっと回って私どもの方へ来るといった状況なんですね。ですから業務機能を持っている事業所、そういったところの声もよく聞く、それから市民の考え方も良く聞いた方がむしろ、土地の付加価値が上がると思うんですね。一方通行が多い、道路が狭い、そういったところに色んなお店や何か今後出てきますか。むしろそういう利便性の良いところに出ていきますよ。そういった事ですのでこれはやっぱり見直すべきですよね。それからもう一つ視点を考えると、かわまち立体駐車場、市直営の2時間無料駐車場、これは大変

良いと思う。ただこれ震災後に作った計画の中で、かわべいや元気いちばありきで作った感じがする。皆さんおっしゃっているんですね。作るんであればこの立町の真ん中あたりの裏あたりに同程度のものを作れば、もっとまちなかに来やすいだろうと、同じ無料にするのであれば。この事について、学院大学の柳井教授と議論したんですよ。そうしたらやっぱり、私は最初こういう事は言わなかったんですが、彼からバチつと言われたんですね。川に作った駐車場、これはこれで良いのだが、むしろ本気でまちづくりをするのであれば、立町の真ん中の裏、小柳町の間かな、あの辺あたりにきちっとしたやつで、道路整備もきちんとして、そこから例えばかわべいの方に抜ける道路とか、広小路に抜ける道路とか、そういった都市計画をきちっとするべきではなかろうかと、今更という感じもしますが、将来的な事を考えるのであれば、やはり投資も必要ではないだろうかという気がします。以上です。

ただし、道路関係とか交通体系、これは公安委員会とか色んな標識とかもありますので、今後議論していかなければならないのですけれど、早急に見直しをかけたほうが良い。そんな事を考えました。

#### 【事務局】

今のお話しにありましたが震災復興の中でのまちづくりは、このエリアについてはほぼ完了しているという事で、委員からご提言のありましたハード整備の部分の変更はなかなか難しい面もあるのかなと思います。ただ小さい取組ではありますけれども、橋通りを逆方向の向きにして川側から中心部に向かって車が流れるような通行形態ですけど、逆に今度はアイトピア側から商工会議所の方に、一方通行の向きを逆にしたらどうなのかといった意見もありまして、市の別部署になります。検討しているという事で、これももしかすると社会実験の中で、交通管理者、道路管理者と相談しながら実験する場面も出てくるのかなと考えてございます。それから駐車場の件でございますけれども、印象としまして元気いちば前に駐車場がありますと、石巻に来られた方がそこの駐車場に止めて元気いちば、萬画館、そしてその駐車場からお帰り頂くという事で、なかなか私達が狙っている立町中央の方に足が向かないという事があるという現状を考えております。委員から立町の裏付近に駐車場をという事であれば、その間を歩いて施設を巡って頂くという事も想定されるのかなと思います。ただ広さの面ですとか、空き地の状況、民有地がだいぶありますので、すぐ駐車場化するのはなかなか難しいのですけれども、私共といたしましては今取り組んでいるまちなかウォークブル事業の中で、核となる大規模な駐車場が離れたところに必要なのかどうか、そういう所も意識しながら今後事業を展開して行きたいと考えております。

#### 【石田委員】

北上川下流河川事務所の石田でございます。色々まちづくりの骨太なインフラ整備は、それはそれで、将来のことを考えて実行して行くというのは大事だと思うのですが、今回の紹介頂いた都市再生整備計画の中では、今あるインフラをどう活用して、それをウォークブル



など言うキーワードになっているのか、歩きながら散策頂くといい中で、どういう活用をしていくのかという形でまとめられたものと理解しております。ただ将来のまちづくりについてはとても大事な事なので、色々な意見を聞いて実現していくというのも大事だと思います。私が手を挙げて発言したかったのは、震災の後堤防の無かった旧北上川に11年の歳月で堤防が出来た訳ですが、この造った堤防をまちづくりにどうやって活かして行くかという事が、現実の計画の中で実施されているという事を目の当たりにして、河川管理者としてもこの計画をしっかり後押しして、一緒にまちが活性化するような事に取り組んでいきたいと改めて思いました。私達も造った堤防をどう活かして行くか日々考えておりますので、一緒に連携しながら取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

#### 【事務局】

かわまちの堤防一体空間の利活用がだいぶ進んでおりまして、各種イベントなんかも行われて、今後まちなかに、どういった既存のインフラだったり、民間の取組の主体があるのか、拾い上げながら、トータルとしてハードだけではなく文化面も含めながら、一体として考える意味でも、先ほどご紹介いたしましたエリマネ検討会議で官民挙げて、何か良い事はないかという事で、実はこの都市再生整備計画、令和4から6年の事業期間ではありますが、かちっと決まったものを実施して行くというよりは、社会実験をしながら、悩みながら新たなものを付け加えていこうという計画の建て付けになっておりまして、今後実験を繰り返しながら、新たにこういった施設がいいんじゃないか、こういったソフト面の取組がいいんじゃないか、という事を国の方と協議して、こういう面でお金を頂けないかと協議しながら変更していく、育てながら進めていくという事業となりますので、各施設管理者の方にご協力をお願いしたいと思います。

#### 【白土委員】

元気いちばの計画の時に、駐車場の問題をみんなで話し合った時に大型バスをどう誘導するかという議論が出てたような気がするんですね、今114万人、大型バスでどれくらいの方が来ているのですか。

#### 【事務局】

大型バスで訪れる方のデータは持ち合わせていないのですが、中心部から入ってくる道中は、大型バスにとっては厳しい道路幅員であったり、角が曲がりづらくて、今も仙台行き的高速バスが、旧観慶丸の交差点をぎりぎり曲がっているという状況ですので、なかなか大型バスで来場するには、楽ではないだろうなどの印象があります。ただバスの駐車場も立体駐車場の脇にありますので、あそこは御活用頂いていると思います。

### 【白土委員】

ただね、高橋さんからお話したように、結局アプローチが無ければバス入ってこないよね、何年か前に話し合った時にバスの駐車場はこっちに作りますよと、結局それが活かされていない道路づくり、細かったりとか、低かったりとか、もう少しその辺をどうにかしないとだめじゃないかなと、もう一回駐車場を計画して真ん中に持ってくると、松島ですけど、石巻から松島、三陸道を使うと30分から40分で来るところに何百万人という人がきているのですよ。そういう人達の一割だけでも引っ張ったら、本当に凄いことだと思うのです。そのためには、行ってみようかなというような呼び込み、道路も駐車場も、そういうものがあって、来て頂ける、松島まで来ている人をこっちに呼び込むことも、どうにか考えていったら如何かなと思います。

### 【事務局】

松島に来られた方の市への誘客については観光戦略とも絡んできます。エリマネ検討会の中に観光課も入っておりますので、そういったご意見があったという事を、観光サイドにお伝えしながら、展開して行きたいなと考えております。やはり、大型バスで来られた方が現状を見てみますと、駐車場から元気いちばに入って、また駐車場から帰って行くと、バスから降りて立町を歩く人がなかなかいないなと休日見ても印象があって、今回の取組は如何に、市民もそうですが、来街者の方が興味を持って、立町中央エリアを快適に歩いて頂けないかと、こういった取り組みが、今回の都市再生整備計画になりますので、取組の中で、観光客の誘客も含めて幅広くエリマネ検討会の中で考えていきたいと思っております。

### 【白土委員】

私一週間のうち5日くらい中央、あいプラザ周辺に来てるんですね、そうすると石巻に来て、まんがブームも当然あるのだろうけれども、本当に皆写真を撮っているんですね、あっこに合ったみたいなの、という感じでね。それでさっき言ったようにマンガロード、告知板がない。どこに行けばどんなものがあるのか、でも番号付けて例えば、ここに行って次はここといったように誘導して行って元気いちばまで、逆に元気いちばからと誘導していかないと歩かないと思うんです。石巻に来た人皆写真を撮っています。関心はすごくあるのだと思います。例えば私たちがどこかに観光に行きますよね。そうすると観光案内のところに行って、私この間釧路に花咲ガニを食べに行ったのですが、やっぱりどこに行けばどんな市場があって、釧路ラーメンはどの店がどうと・・・、告知板がまずない。作るべきだと思います。元気いちばのほうから来る人もいれば、石巻の仙石線のほうから来る人もいる、当然車で来る人もいます。それを考えないと、誘導というか観光で歩き回るといえるか、歩き回ってもらうか、それが大事なんじゃないかと思っております。

### 【関口会長】

今のご意見に対して、ちょっと脊髄反射的な私の感想から言っただけで、事務局から答えて頂ければと思います。まず案内は必要なんだとは思いますが、例えばキャラクターの銅像とかが、どこにあるかというのは、あえて言わない方がむしろ面白かったりするんじゃないかと思ったりします。すべてを公表する事がプラスになるかというのと、検証の必要があるんだろうかと、どこに何があるんだろうかと探しながらのワクワク感も必要ではないかと思ったりしました。事務局の方如何でしょうか。

### 【事務局】

観光サイドの話ですけど、マンガロードマップというものを街づくりまんぼうさんが作って頂いていて、配布している状況にあります。それを紙ベースでやっていたり、SNSで発信したりというのが、今後観光サイドで取り組むなり、さらに皆さんに多く知って頂くという取組はされていくものと思いますが、今回のウォークブル推進事業の中で、かなり国土交通省の方も頑張っていて、滞在快適性を良くする取組の中で、例えば道路標識とか施設案内のサインとかが補助対象になるという、かなり柔軟な補助メニューで汎用性のある事業です。どういった施設が必要になるのか、今手探りで考えているという状況ですので、エリマネ検討会の中で話題を出して、各分野の担当がおりますので、提案していただくような方向にもっていきたいと考えております。

### 【畠山委員】

東北工業大学の畠山と言います。コメントに近い意見という事で、まちなかウォークブルという事が、結構今色々やられているところがあって、都市部だと丸の内パークのように所謂事業体が色々なものを出し合って場を作っていくというものがあります。私はもともと横浜のバンカート創造都市横浜という所での活動に加わって色々やっていたんですけども結局のところウォークブルで何かやっというようになった時には、周辺の住民の方を含めて、そこに関わる住民の方たちがどれだけ主体性をもって関わってくださるかという所に、かかっている気がします。なので、この社会実験をやられているのは、忙しい中素晴らしいなと思いますが、これをやっぱり継続していきながら、すぐには結果は出ないかもしれませんが、継続していく必要があるのと、資料3の6ページにありますけども、市民と観光客が交流する場と一般的には言われますけれども、そこに住まわれている住民の方と外から来られている観光の方もおられますし、観光客かける市民、市民かける市民、色々なパターンがあるなかでのどう交流を生むかという中で、かわまちエリアから引っ張っていくのが全て正しいのか、例えばJRから来てかわまちの方に回っていくためには、どういう仕掛けを作っていくのか、事業主体を含めてどういう仕掛けづくりをしていくのかという所の、ソフトのところも含めて継続的にやられていくと良いのかなという一意見というところです。

#### 【事務局】

今回のかわまちの都市再生整備計画は、4年から6年という短い期間で、関わって頂いている街づくりまんぼうさんには、事ある毎に言っているのですが、石巻市は今後永久的に中心市街地に関わっていくのはたぶん難しくなってくるだろうと、やはりエリアにお住まいの方、それから事業を展開している方が、将来的に自立して取組をしていかなければならない。今回の都市再生整備計画自体をセルモーター的にですね、動くためのきっかけとしてこの事業を活用してほしいという事をまちづくり会社の方には、常日頃から伝えておりますので、いずれ立町エリアはかなり低未利用地で空き地がありますので、私たちの目標としては、今回の社会実験を通して、あのエリアに何かしら週末だけでも良いからテントの店舗でもよいので、週末とか夜間の人口密度が上がったねと、そのような取組が出てくれば、今回の取り組みの成果として、嬉しいのかなと思っております。それから駅からかわまちまでの流れですね、正に逆の発想ですね、なかなか鉄道を利用して来られる方というのは、割合的に少ないので、やはり駅を使いやすくするとか取組はしているのですが、マンガロードを使いながらの発想の方も検討していきたいなと思っております。

#### 【遠藤委員】

石巻市議会の遠藤宏昭です。まず中心市街地の、立町とかアイトピアの民間事業者がやっている駐車場の数というか、何台位止められるかという数字があれば、お聞かせください。

#### 【事務局】

時間貸し駐車場としては1, 442台となっております。

#### 【遠藤委員】

そうなんですよ、私も立町なりアイトピアなり週末歩いてみることもあり、車で来るのですが、立町の印象としてはものすごく駐車場が多いイメージなんですよ、先ほど空き地を利用するなどの話がありましたが、駐車場は決して無いから来ない訳ではない。有料だから誰も止めなくて、立体駐車場は無料2時間だから、私もわざわざ車を止めてから、立町に歩いてくるのが現実なんですよ、駐車場はある訳だからそれこそ官民連携で魅力あるまちづくりだから、そこに対しても補助できる事を考えていくことが現実的なんだと思うんですよ、どこに止めても2時間無料なんだよとすれば、立町の民間駐車場にも入ると思うのです。用事あるところの近いところに止める訳だから、だけど今は石巻市の立体駐車場が元気いちばの前であって、2時間無料だからわざわざ車を止めて歩いていくという現状なんですよ。だから、それこそJR石巻駅から歩かせるというよりも、石巻には皆さん車で来るわけで、その1,400台もある訳だから、郊外のスーパーと同じくらいの台数が止められる訳ですよ。ここを使っていかないとだめなんだと思うのです、私の感覚だと。民間の事業者は儲からなければ誰もそんなのやる訳ないのだからそこに対する補助金とか補助メニューが

あるのであれば、利用していくという事が現実的ではないかと思うのです。ハードを整備するよりも、あるものを使ってソフト面で充実させていくという事は考え方として如何でしょうか。

#### 【事務局】

あるものを使っていくという事は、私たちの必要な発想の中心においている事でありませう。令和3年にやった市民意識調査で、中心市街地に対する自由欄がありまして、やはり駐車場がないと、例えば蛇田に行けば無料の駐車場が目のお店だと、中心市街地に比べると向こうの方が断然便利なんだと、結構市民意識調査の中ででているんですね、やはり石巻は車社会なんだと実感したところでもあります。今ある民間駐車場をもっと使いやすく、委員方からお話しありました2時間無料とかの取組ですね、私共都市計画の方は分野的に違いますが、エリマネ検討会で幅広い市の関係部署が集まって事務局を構成していますので、今日皆様から頂いた意見を率直に担当課にぶつけたいと思います。

#### 【関口会長】

今のご質問やご説明に関連してですが、民間駐車場が1,442台あるという事なんですけども、まちづくりはあくまでも行政だけではなく、民間というか幅広い主体がまちを作っていくものなんだろうという風に考えたときに、ちょっとこれは厳しい言い方かもしれませんが、1時間当たり200円の駐車場があったとします。で、それを利用しないとはなぜかと言うと、200円の価値をそのエリアが供給していないからなんだろうという風に言うと、民間事業者の方から怒られるかもしれませんが、駐車料金以上の価値を生み出すという努力は行政ではない、少なくとも都市計画でどうこうするのではない、と思いますので、それこそ社会実験をしながら、色々な取り組みをチャレンジしてみて頂いて、行政だけではなくて、色々な主体がまちを作っていくという気持ちで取り組んで頂くと良いのかなと思いました。

#### 【宮本委員】

駅前広場の整備の話がでたので市民レベルで一つだけ申し上げますが、一般の人も使える昇降所というか迎えに行ったりするための場所が、今3台か4台くらいなんですよね。ちょっとそれは不便で、ちょっとしたスペースがあればよいのですが、例えば一般が使えるレーンとかを増やせるような整備はできないのでしょうか。最後のページにあるバスのロータリーですがこれも栈橋式みたいにうまく工夫して狭めるとか、駅の東側のちょっと広いスペースあそこも削ってみるとか、一般のJR利用者には反対側があると言われるのですが、栈橋を渡っていかなければならず不便で、駅前の方に一般が使えるもう少しレーンを増やした計画というのはどうか伺います。

**【事務局】**

鉄道が石巻駅に着くタイミングで駅前広場から溢れて周辺の市道に停車している車を見るのですが、以前は市立病院があったところに市営駐車場があり、ちょっとした時間であれば無料でしたので、そういったところを使って頂いていたのですが、津波防災拠点という事で津波対応のための施設が完成したためにその駐車場がなくなったという事で、それをどうするのかといったところは都市計画としての課題ではあるんだろうと思っています。駅の北側にもJRが所有している土地があって、一時期活用を考えた事もありましたが、実現には至っていないので、やはり今後の中長期的な駅前の姿の課題だろうと考えております。今すぐどこかを削って駐車場を確保するのは難しいところです。

**【関口会長】**

ほかに質問はありますか。

無いようですので報告事項3に移ります。報告事項3、都市計画提案制度について事務局から説明願います。

**【事務局説明】**

**【関口会長】**

ご説明ありがとうございました。それでは報告事項3についてご説明がありましたので、ご質問等ありましたら、お願いいたします。

**【関口会長】**

報告事項3については終わりにいたします。

以上で本日の議事は終了となります。

その他といたしまして、委員の皆様からご意見、ご質問等ございますでしょうか。

**【宮本委員】**

この場とは直接関係あるかどうか分からないのですが、今リボンアートとかで半島の方に行くのですが、イベント会場付近はきれいに片づけとかしてあるのですが、道中草むらにゴミがあって、堤防とか道路とか草は刈ってもらってもゴミがある。せっかく来てもらってもゴミがあるので、業者をお願いして片づけてもらえば良いのですが、イベントをしているエリア以外でもきれいにして頂けるように、団体の方にも話して頂けないでしょうか。この場としては関係ありませんが都市計画の中でゴミというのでも考えて行かなければと思いますのでよろしく申し上げます。

**【事務局】**

担当の方にそういった話があったと伝えておきます。

**【関口会長】**

ほかにご質問ご意見等ございますでしょうか。無いようですのでこれで今回の審議会を終わらせていただき、事務局に進行をお返しします。皆様ご協力ありがとうございました。

**【事務局】**

事務局から次回の都市計画審議会の開催予定をご報告いたします。

さる9月21日、ささえあいセンター3階ホール、この場所になるのですが、素案説明会が行われました、石巻広域都市計画用途地域の変更、準防火地域の変更、特別用途地区の変更、並びに石巻市東部流域関連公共下水道の変更、石巻市流域関連公共下水道の変更案件の審議を、年の瀬となりますが、12月22日（木）の開催を予定しております。よろしく願いいたします。

以上を持ちまして第40回石巻市都市計画審議会を終了いたします。本日は、ありがとうございました。

午後4時25分 開会